



平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年1月4日

上場会社名 株式会社 あみやき亭
 コード番号 2753 URL <http://www.amiyakitei.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長
 四半期報告書提出予定日 平成25年2月14日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 佐藤 啓介
 (氏名) 千々和 康

上場取引所 東 名

TEL 0568-32-8800

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	17,307	7.3	1,460	47.2	1,503	39.6	820	76.7
24年3月期第3四半期	16,127	△3.9	992	△42.0	1,076	△38.3	464	△52.7

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 819百万円 (76.4%) 24年3月期第3四半期 464百万円 (△52.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	11,974.83	—
24年3月期第3四半期	6,777.61	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第3四半期	15,414	12,465	80.9	182,005.78
24年3月期	14,662	11,871	81.0	173,333.00

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 12,465百万円 24年3月期 11,871百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	1,500.00	—	1,500.00	3,000.00
25年3月期	—	1,800.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	1,800.00	3,600.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	24,170	11.6	1,960	28.8	2,000	24.8	950	33.7	13,871.04

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料P3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期3Q	68,488 株	24年3月期	68,488 株
② 期末自己株式数	25年3月期3Q	— 株	24年3月期	— 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期3Q	68,488 株	24年3月期3Q	68,488 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。
業績予想の前提条件及びその他関連に関する事項については、添付資料P3「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要を背景として、一部に緩やかな景気回復の動きが見られたものの、長期化する円高の影響や欧州債務危機に加え中国をはじめとする新興国の成長鈍化などにより依然として先行きに対する不透明感は払拭できない状況となっております。

当業界におきましても、先行き不透明感から雇用情勢・所得環境が厳しさを増す中で、消費者の生活防衛意識による節約志向や業界内の競争激化など取巻く経営環境は引き続き厳しい状況が続いております。

このような環境の下、当社グループといたしましては、経営理念であります「お客様一人一人に喜んでいただく」ことを実現するために、当社の強みである食肉の知識と技術を駆使し、国産牛肉の品質向上を通じてお客様にとって「安心・安全で美味しくて安い」商品の提供を徹底するとともに多能工を推進し店舗力の底上げを行ってまいりました。

店舗数につきましては、あみやき亭5店舗（松阪店、浦和美園店、与野本町店、中津川店、越谷店）、美濃路1店舗（春日井篠木店）を新規出店いたしました。美濃路1店舗（甚目寺店）を退店したため、当第3四半期連結会計期間末の店舗数は190店舗となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高17,307百万円（前年同期比7.3%増）、営業利益1,460百万円（前年同期比47.2%増）、経常利益1,503百万円（前年同期比39.6%増）、当期純利益820百万円（前年同期比76.7%増）と増収増益となりました。

また、株式会社あみやき亭単体の当第3四半期累計期間の業績は、売上高14,777百万円（前年同期比4.8%増）、営業利益1,490百万円（前年同期比26.4%増）、経常利益1,561百万円（前年同期比24.9%増）、当期純利益881百万円（前年同期比32.0%増）となりました。

<焼肉事業>

焼肉事業の当第3四半期連結会計期間末の店舗数は、5店舗新規出店した結果、123店舗となりました。内訳は、あみやき亭106店舗、かるび家5店舗、スエヒロ館12店舗であります。

当社が経営する「あみやき亭」では、品質の向上に徹底的にこだわり「お客様にとって価値感・満足感のある商品」の提供に努め、接客・サービスレベル向上に向けた従業員教育を行うなどの既存店強化に努めてまいりました。

株式会社スエヒロレストランシステムが経営する「スエヒロ館」につきましては、「食肉の専門集団」である強みを活かして「チェーン店価格」で和牛中心の商品を提供しております。

以上の結果、焼肉事業の当第3四半期連結累計期間の売上高は、13,534百万円（前年同期比8.9%増）となりました。

<焼鳥事業>

焼鳥事業の当第3四半期連結会計期間末の店舗数は、1店舗（春日井篠木店）新規出店し、1店舗（甚目寺店）を退店したため、58店舗であります。

焼鳥事業は、当社が経営する「元祖やきとり家美濃路」58店舗であります。

焼鳥事業におきまして、焼鳥技術向上による「美味しい・安い」焼鳥の提供に努めるとともにサービス業としての基本の徹底を図るなどの内部取組を優先し、既存店の立て直しを行っております。

以上の結果、焼鳥事業の当第3四半期連結累計期間の売上高は、3,017百万円（前年同期比0.6%減）となりました。

<その他の事業>

その他の事業の当第3四半期連結会計期間末の店舗数は、9店舗であります。

内訳は、株式会社スエヒロレストランシステムが経営する、レストランの「スエヒロ館」6店舗、居酒屋「楽市」3店舗であります。

レストランの「スエヒロ館」につきましては、「食肉の専門集団」である当社グループの強みを活かした低価格の「100%国産ハンバーグ」「国産牛ステーキ」を提供するハンバーグ・ステーキの専門店として、引続き品質の向上に努めてまいりました。

また、居酒屋「楽市」につきましても、メニュー開発を行うとともに商品の品質向上やお客さまの立場に立った接客・サービスの向上に努めてまいりました。

以上の結果、その他の事業の当第3四半期連結累計期間の売上高は755百万円（前年同期比15.8%増）となりました。

なお、各事業の売上高については実績ベースにおいて記載しており、連結売上高に含まれておりますポイント引当金の影響を考慮しておりません。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の総資産額は、15,414百万円となり、前連結会計年度末と比較し751百万円増加いたしました。主な要因は現金及び預金の増加によるものです。

負債総額は2,948百万円となり、前連結会計年度末と比較し、157百万円増加いたしました。主な要因は設備未払金の増加によるものです。

純資産総額は、12,465百万円となり、前連結会計年度末と比較し593百万円増加いたしました。主な要因は利益剰余金の増加によるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年4月2日付の平成24年3月期決算短信で公表いたしました平成25年3月期の通期連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(減価償却方法の変更)

当社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。これによる当第3四半期連結累計期間の損益への影響は軽微であります。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,757	6,335
預け金	177	380
売掛金	2	2
商品及び製品	43	50
原材料及び貯蔵品	224	85
繰延税金資産	94	48
その他	193	243
流動資産合計	6,494	7,145
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	4,786	4,848
構築物（純額）	393	380
機械及び装置（純額）	203	192
車両運搬具（純額）	3	2
工具、器具及び備品（純額）	187	175
土地	516	516
建設仮勘定	20	35
有形固定資産合計	6,111	6,151
無形固定資産		
ソフトウェア	5	2
その他	47	45
無形固定資産合計	52	48
投資その他の資産		
投資有価証券	10	10
長期貸付金	249	251
繰延税金資産	239	246
差入保証金	1,014	1,028
その他	490	532
投資その他の資産合計	2,004	2,069
固定資産合計	8,168	8,268
資産合計	14,662	15,414

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	859	853
未払金及び未払費用	848	1,152
未払法人税等	363	194
賞与引当金	103	41
役員賞与引当金	—	15
株主優待引当金	3	5
ポイント引当金	27	27
その他	226	266
流動負債合計	2,431	2,556
固定負債		
負ののれん	0	0
繰延税金負債	25	24
資産除去債務	245	263
その他	89	103
固定負債合計	360	392
負債合計	2,791	2,948
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,473	2,473
資本剰余金	2,426	2,426
利益剰余金	6,972	7,566
株主資本合計	11,873	12,467
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△2	△2
その他の包括利益累計額合計	△2	△2
純資産合計	11,871	12,465
負債純資産合計	14,662	15,414

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
売上高	16,127	17,307
売上原価	6,161	6,670
売上総利益	9,965	10,637
販売費及び一般管理費	8,972	9,176
営業利益	992	1,460
営業外収益		
受取利息	11	12
受取配当金	0	0
協賛金収入	49	23
その他	22	6
営業外収益合計	83	42
営業外費用		
その他	0	—
営業外費用合計	0	—
経常利益	1,076	1,503
特別利益		
受取保険金	13	6
特別利益合計	13	6
特別損失		
固定資産除却損	49	63
減損損失	—	6
その他	0	1
特別損失合計	49	70
税金等調整前四半期純利益	1,039	1,439
法人税、住民税及び事業税	499	580
法人税等調整額	76	38
法人税等合計	575	619
少数株主損益調整前四半期純利益	464	820
四半期純利益	464	820

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	464	820
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	0	△0
その他の包括利益合計	0	△0
四半期包括利益	464	819
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	464	819

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(開示の省略)

四半期連結キャッシュ・フロー計算書、セグメント情報、その他の注記事項、個別情報、補足情報等は第3四半期決算短信における開示の必要性が大きくないと考えられるため開示を省略しております。